

# 第99回、第100回のISO理事会会合で 採択された決議

2016年1月27日及び3月17, 18日  
ジュネーブ

一般財団法人 日本規格協会  
国際標準化ユニット  
参与 若井 博雄  
平成28年4月22日

## — 目次 —

### 政策事項

- 10. ISO戦略2016-2020の実施
- 12. POCOSAと国家採択に関するAHG
- 20. イスラエル法に参照により採用された規格に関する  
SIIポータルの評価
- 14. ISO IT戦略を策定するAHG
- 13. リスクアセスメントを含むISOolutionの業務範囲
- 19. シンガポールでの地域関与イニシアティブの事業計画
- 15. ISOアカデミーに関する理事会タスクフォース
- 1. 新しい事務総長の任命
- 5. 政策開発委員会(PDC)の議長候補者推薦プロセスの見直し

## IECとの協力事項

9.IEC及びITUとの協力

8.IECとの協力

## 財務事項

17.2015会計年度監査済み財務諸表

18.2017年ISO会費

16.CSC/FIN報告

## 加盟国事項

11.SARSOとの協力協定

4.メンバーシップの移行:ニュージーランドの会員団体

7.メンバーシップ

## 大会事項

2.2016年総会の日程と場所

6.北京での2016年総会

3.2016年理事会会合の日程と場所

- 出席者: 会長 Zhang Xiaogang 中国
- 副会長 (SPC政策) John Walter カナダ
- 副会長 (TMB技術) Elizabeth Stampfl Blaha  
オーストリー
- 副会長 (FIN財務) Olivier Payrat フランス
- 事務局長代理 Kevin McKinley カナダ
- 財務官 Miguel Payro 英国、は欠席
- ISO事務局: Mr. Nicolas Fleury, Mr. Daniele Gerundino, Mr. Jose Balter

### 理事会の委員:

AFNOR フランス、BSI イギリス、DIN ドイツ、  
DS デンマーク、SIST スロベニア、SN ノルウェー、  
UNII イタリア、UNMZ チェコ、GOST ロシア、  
IRAM マセドニア、SARM アルメニア、TSE トルコ、  
ANSI アメリカ、DGN メキシコ、JISC 日本、  
KATS 韓国、SAC 中国、SPRING シンガポール、  
SABS 南ア、BOBS ボツワナ

### 政策委員会議長:

CASCO 南アフリカ、COPOLCO マレーシア、  
DEVCO スリランカ

# 理事会決議 10/2016

(ISO戦略2016-2020の実施)

理事会は

ISO戦略2016-2020の実施に関する理事会文書06/2016に記載された戦略的プログラム、目的、手段、及びアクションの一般的アプローチを承認し、

理事会決議19/2015によって承認された2016年度優先達成事項が上記戦略プログラムに含まれることに留意し、

戦略的プログラム実施に関する進捗状況報告に基づく報告に移行することを決定し、

戦略及び政策委員会(CSC/SPC)に、ISO戦略2016-2020実施のモニタリングに使用する指標を規定することでこのプロセスを完了し、2016年9月の理事会で承認を得るよう依頼する。

© ISO/JSA 2016

6

# 理事会決議 12/2016

(POCOSAと国家採択に関するAHG)

理事会は

POCOSAと国家採択に関して、その会合で示したように、アドホックタスクグループ(AHG)が議論した原則を歓迎し、理事会メンバーに、説明を求める場合は2016年3月末までにそれを事務総長に提出するよう依頼する。

© ISO/JSA 2016

7

# 理事会決議 20/2016

(イスラエル法に参照により採用された規格に関する

SIIポータルの評価)

理事会は

イスラエルの法律に参照により採用された(IBR)選別ISO規格のSIIパイロット規格ポータル(SII IBRポータル)への包含を承認した決議14/2014を想起し、

理事会文書12/2016の附属書に記載されたSII提出の評価報告書を検討して、SIIにはSII IBRポータルに包含されるISO規格から得られる売り上げ収益に対する影響の証拠が見られないことに留意し、

イスラエルの法律に参照により採用された88の選定ISO規格のSII IBRポータルでの使用の継続を承認し、

SIIにこのIBRポータルに関して払った努力を感謝し、

事務総長にこの決定の実施に関して理事会に毎年報告するよう依頼する。

© ISO/JSA 2016

8

# 理事会決議 14/2016

(ISO IT戦略を策定するAHG)

理事会は

理事会文書09/2016(追加)に記載された、IT戦略を策定するための理事会タスクフォースを設立するようとのANSIの提案を支持し、

この目的で、このグループを、副会長(政策)を議長とする理事会アドホックタスクグループ(AHG)として設立するよう決定し、事務総長に、会合でなされたコメントに基づいてANSIと協力して委任事項とメンバーシップを策定し、通信によって理事会の承認を得るよう依頼する。

© ISO/JSA 2016

9

# 理事会決議 13/2016

(リスクアセスメントを含むISOolutionsの業務範囲)

理事会は

理事会文書13/2016の附属書1に記載された現行のISOolutions業務範囲に留意し、事務総長に以下を依頼し：

1. 会合で議論したISOolutionsの財政面を含むリスクの検討と、理事会文書13/2016の附属書2に記すリスクアセスメントの更新
2. 既存のISOolutionsユーザの支援の継続
3. 更新したリスクアセスメントに基づく詳細なリスク軽減計画の策定と、財政計画の提案

上記のタスクが完了した後は、ISOolutionsプログラムのそれ以上の変更には理事会決議を必要とするよう決定する。

© ISO/JSA 2016

10

# 理事会決議 19/2016

(シンガポールでの地域関関与イニシアティブの事業計画)

理事会は

効果的な定量的かつ定性的測定を事業計画に含める重要性に関して会合で成されたコメントに留意し、

上記コメントを考慮して、理事会文書11/2016に記載されたシンガポールでの地域関関与イニシアティブの事業計画を承認し、中央事務局に、この決定の実施を加速し、理事会に毎年報告するよう依頼する。

© ISO/JSA 2016

11



# 理事会決議 15/2016

(ISOアカデミーに関する理事会タスクフォース)

理事会は

会合でなされたコメントを盛り込み、理事会文書09/2016の附属書2に記載されたISOアカデミー戦略を承認し、

ISOアカデミーに関する理事会タスクフォースを正式に解散することを決定する。

© ISO/JSA 2016

12

# 理事会決議 1/2016

(新しい事務総長の任命)

理事会は

当該会合に出席した3名の候補者のプレゼンテーションとインタビューを検討した結果、

新しい事務総長を探すための選定プロセスを継続することを決定する。

当該プロセスの継続にあたり、

選定委員会を拡大し、会長委員会に加え、関心を持つ理事会メンバーを含めることを決定する。

選定規準を改善することを合意する。

そのため、

拡大される選定委員会に個人的に参加したいと思うか否かを2016年2月1日(月)までに会長委員会の事務局に通知するよう理事会メンバーに求める。

選定規準の改善に関する意見を2016年2月12日(金)までに会長委員会の事務局に通知するよう理事会メンバーに求める。

その後、会長委員会の事務局は選定規準最終版を回付し、全理事会メンバーによる書面審議での速やかな承認を仰ぐ。

© ISO/JSA 2016

13

# 理事会決議 05/2016

(政策開発委員会(PDC)の議長候補者

推薦プロセスの見直し)

理事会は

候補者推薦受付期間の4週間から8週間への変更(当プロセスのステップ4.b)に従って、理事会04/2016の附属書1に記載された政策開発委員会(PDC)議長の候補者推薦プロセスを、承認し、

次期DEVCO議長の任命に2016年に初めて使用することに留意する。

© ISO/JSA 2016

14

# 理事会決議 09/2016

(IEC及びITUとの協力)

理事会は

事務総長に、会合でなされたコメントに基づいて次の2つの文書を作成するよう依頼し:

- 1.ISO/IEC/ITU共通パテントポリシー改訂の可能性に関する継続中の対話と公開討論会へのISOの関与。
- 2.ISO、IEC、及びITU間の新しい協力形態への取り組み。

事務総長に2016年9月の会合で進捗に関する報告を行うよう、さらに依頼する

© ISO/JSA 2016

# 理事会決議 08/2016

(IECとの協力)

理事会は

ISOとIECの間の協力の重要性を強調して、

ISOとIECの管理機関で働くIEC共通の代表の利害対立の可能性に関するIECの懸念に対する理事会会員のコメントを考慮し、

副会長(技術管理)と事務総長にその懸念についてIECと協議し、理事会に報告するよう依頼する。

15



# 理事会決議 16/2016

(CSC/FIN報告)

理事会は

理事会に提供された透明性のある情報と、2015年の良好な財務成績をもたらした効率的な経営に対して、事務総長代理とそのチームにお祝いを述べ、

CSC/FINと共にISO中央事務局がBlandonnet施設への移転計画の評価を行うことに同意し、

CSC/FINに2016年9月の会合で理事会に対して所見を提示するよう依頼する。

© ISO/JSA 2016

16

Actual 2015

REVENUE	K CHF	EXPENDITURE	K CHF
Membership fees	<b>21,146</b>	Personnel expenses	<b>24,395</b>
Royalties received from members selling ISO standards	8,598	Office and facilities	2,555
Revenue from members	29,744	Travels	613
Direct sales	8,542	IT costs	3,333
Royalties from distributors selling ISO Standards	<b>3,790</b>	Events	664
Cost of sales	-6,709	Marketing and communication	835
Net sales revenues	5,623	Third party services	1,543
Services	1,439	Depreciation	685
Projects funded through ISO funding	1,551		
Projects funded through ISO funding	39	Operating expenditure	34,623
Other revenue	<b>3,029</b>	Projects funded for Developing Countries (3 <sup>rd</sup> party expenses only)	1,551
Net financial income	54	Projects funded through ISO funding (3 <sup>rd</sup> party expenses only)	39
		Projects	1,590
<b>TOTAL REVENUE</b>	<b>38,450</b>	<b>TOTAL EXPENDITURE</b>	<b>36,213</b>
		Operating surplus	<b>2,237</b>

© ISO/JSA 2016

17

## 理事会決議 17/2016

(2015会計年度の監査済み財務諸表)

理事会は

総会に、2015年12月31日に終了した年度のISO中央事務局の監査済み財務諸表を、理事会文書10/2016の附属書2に添付した監査人報告に記載された通り承認するよう勧告し、

以下を決定し:

1. 一般基金の水準を、中央事務局の2016年度歳出予算の6カ月分相当より高いkCHF 18,194の額に維持すること(理事会決議15/2007)
2. 以前は「変動為替レート準備金」と呼んでいた出資の損失に対する準備金を、kCHF 1,067に維持すること
3. メンバーシップ分担金の準備金をkCHF 77減額すること

純剰余金kCHF 2 237を以下の通り割り当てるよう、さらに決定する:

1. kCHF 1,000を中央事務局による開発及び研修プログラムの財源に割り当てる
2. kCHF 633を2017年ISO会費の1回限りの割り戻しに充てる
3. kCHF 250をISO戦略2016-2020実施の一部としてISOのIP活用及び保護プロジェクトに割り当てる
4. 水準をkCHF 500に上げるため、kCHF 126を収入源準備金の削減に割り当てる
5. kCHF 100をISO/CSの新施設準備金の構成に割り当てる
6. 2015年に受領する会費の未払いに対応して、kCHF 78をメンバーシップ分担金準備金に割り当てる
7. 水準をkCHF 250に上げるため、CHF 50を人員補充準備金に割り当てる

2015年12月31日までの年度のISO中央事務局の会計の決算を決定する。

## 理事会決議 18/2016

(2017年ISO会費)

理事会は

総会が2017年の分担金ユニットにCHF 5,118の金額を承認するよう推奨し、

総会がその決議6/2014で2015-2017年に会員団体に割り当てる分担金ユニットの数を承認したことに留意する。

# 理事会決議 11/2016

(SARSOとの協力合意)

理事会は

南アジア地域標準化機構(SARSO)がISO理事会によってその決議24/2015の下、地域標準化機構として認識されたことを想起し、

理事会文書07/2016の附属書に記載されたSARSOとISOの間の協力合意原案を承認し、

事務総長にこの合意書に署名し、2016年9月の理事会会合でその実施について経過報告を示すよう依頼する。

© ISO/JSA 2016

20

# 理事会決議 4/2016

(メンバーシップの移行: ニュージーランドの会員団体)

2016年3月8日書面審議にて採択

理事会は

ニュージーランド標準機構(NZSO)が2016年3月1日より、ニュージーランド規格協会(SNZ)が以前有していたISOに対する全責任を引き継ぐことに留意し、

ニュージーランドのISO会員資格を、2016年3月1日より、ニュージーランド規格協会(SNZ)よりニュージーランド標準機構(NZSO)へ移行する事を決定する。

© ISO/JSA 2016

# 理事会決議 7/2016

(メンバーシップ)

理事会は

2015年9月の理事会会合以降に採択された決議のフォローアップを考慮して、2016年9月の会合で、新規会員団体の承認基準または1国内のメンバーシップの移転について見直すことを決定する。かかる会員団体は、ISOの会員規則と義務と本機構の目的を理解するようになる。

21

## 理事会決議 2/2016

(2016年総会の日程と場所)

理事会は

2016年ISO総会を2016年9月12日(月)から13日(火)まで北京(中国)で開催することを決定する。

この決議は[理事会決議 28/2014](#)に取って代わる。

## 理事会決議 06/2016

(北京での2016年総会)

理事会は

9月の北京(中国)での2016年総会の準備に関する経過報告に留意し、

中国国家標準化管理委員会(SAC)に、これまでにこのイベントの準備に注いだ相当の努力に対して、また中国ISOウィーク中の  
全会合の計画に対して感謝する。

## 理事会決議 3/2016

(2016年理事会会合の日程と場所)

理事会は

2016年の理事会会合を以下の予定で開催することを決定する：

- 3月17-18日(木-金)、ジュネーブ
- 9月11日(日)、総会開催地

この決議は、[理事会決議 29/2014](#)に取って代わる。

ご清聴ありがとうございました

お問合せ先：  
kokusai3@jsa.or.jp